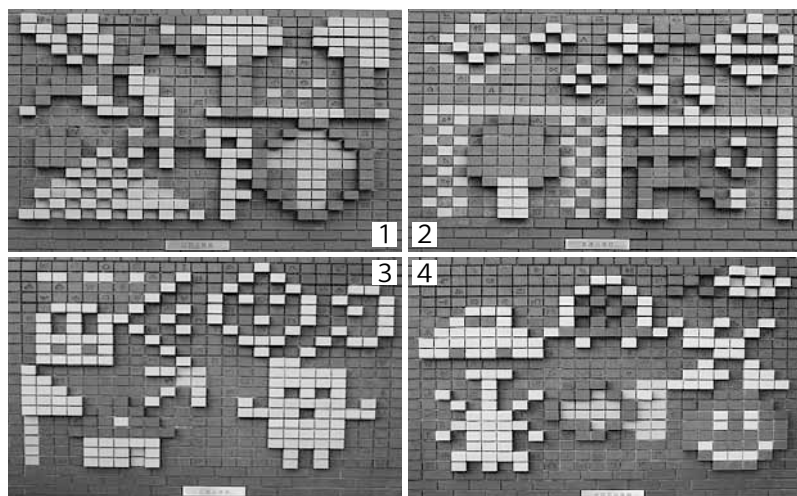




完成セレモニー

昨年11月24日に開かれた完成セレモニー。
児童の代表が作品に込めた思いなどを話しました。



1 白石小学校、2 本通小学校、3 北郷小学校、4 北白石小学校
1・2は南口、3・4は北口で見ることができます。

テーマとなる言葉を考案



まちにある物の名前から、文字を抜き出して、「えきがうなーう えきがうなーう」など作品のテーマとなる新しい繰り返し言葉をつくりました。

積み方を考える



テーマを思い描きながら、色を変えたり飛び出させたりと、想像力豊かに積み方を工夫しました。

未来に伝えよう

希望者の募集や粘土採取など苦労もありましたが、完成した姿を見たときは感無量でした。
白石レンガの歴史が、この広場を有効に使ってもらいたいという願いと共に、後世に伝わればうれしいです。
雪解け後に、ぜひご覧ください。

JR白石駅思い出レンガ
プロジェクト事務局
(NPO法人白石ネット内)
白石 俊信 さん



白 石の土を採取して「白石レンガ」を復活させ、希望者の名前を刻んで、駅前広場に敷設する「思い出レンガプロジェクト」。住民が中心となり、粘土の調査や採取、刻印希望者の募集を進めました。
れんがの原料となる粘土は、平成21年春、平和通4丁目北で土地所有者の協力を得て採取。一方、平成21年7月から同22年12月まで刻印の希望者を一口2千円で募ったところ、目標の5千個を上回る5千279個の申し込みがありました。
駅前広場に敷き詰められた白石レンガ。長年刻まれた白石の歴史を未来に伝えたいという思いが、れんがが一つ一つに込められています。

